

令和 5 年 5 月 18 日

令和 4 年度の自己点検結果

自己評価委員会

令和 4 年 5 月 1 日における在 student 数は、学部生 1,144 人（収容定員充足率 84.1%）、大学院生 8 人（同 26.7%）、助産学専攻科生 7 人（同 70.0%）で合計 1,159 人であった。各学科の在 student 数は、経営学科 179 人（同 89.5%）、福祉学科 105 人（同 43.8%）、こども学科 169 人（同 84.5%）、健康スポーツ科学科 369 人（同 92.3%）、看護学科 322 人（同 100.6%）であった。

令和 4 年度学部卒業生は、277 人で、経営学科 48 人、福祉学科 31 人、こども学科 37 人、健康スポーツ科学科 75 人、看護学科 86 人であった。また、大学院生 3 人、助産学専攻生 7 人が修了した。

学部卒業生 277 人中 261 人が就職希望者であり、260 人の就職が内定して就職率は 99.6% を達成し、実就職率は 95.9% であった。

令和 4 年度に実施した入試については、令和 5 年度の入学者数は 302 人（入学定員充足率 88.8%）であった。各学科の入学者数は、経営学科 62 人（同 124.0%）、福祉学科 22 人（同 36.7%）、こども学科 42 人（同 84.0%）、健康スポーツ科学科 98 人（同 98.0%）、看護学科 78 人（同 97.5%）であった。

長期ビジョン委員会報告書を取りまとめ、これをベースに 2023 年度を展望した福山平成大学中期計画を策定した。

令和 4 年度の教育研究活動方針に対する自己評価は以下のとおりである。

（1） 学生募集及び広報の推進：相当程度達成できた。

- ① 入学者数 302 名、入学定員充足率 88.8%といずれも前年度を上回った。経営学科は充足率 124%であったが、こども学科、健康スポーツ科学科、看護学科は定員をやや下回った。福祉学科は前年度と同じ 36.7%に留まった。
- ② 大学 HP 掲載、マスコミ登場、効果的なチラシ作成、動画や SNS の活用等広報力を強化した。
- ③ 高校訪問や高大連携活動を通じ本学をアピールした。

（2） 学修支援・就職支援の充実：概ね達成できた。

- ① 国家試験合格率は看護師 95.5%、保健師 100.0%、介護福祉士 100.0%、社会福祉士 70.0%、精神保健福祉士 83.3%とほぼ目標を達成した。
- ② 1 名の未内定者があったが、就職率は 99.6%と 12 年連続で就職率 99%以上を達成した。

（3） 研究力の強化：達成できなかった。

- ① 科研費申請件数（22 年度 14 件←19 年度 38 件）
- ② 科研費採択件数（同 1 件←2 件）
- （4） ウィズコロナへの対応：概ね達成できた
 - ① 大過なく原則対面授業に切り替えることが出来た。
 - ② 感染拡大に注意しながら御幸祭、一部学科での宿泊オリエンテーション等徐々にキャンパスライフの正常化を進めた。